

第29回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（高学年の部）

タイトル： わたしのまちのおまわりさん

氏名： 田島 侑奈（タジマ ユウナ）

小学校名：群馬県 太田市立藪塚本町小学校 四年

ある日、わたしの家のインターホンがなった。モニターで外の様子を見てみると、2人のけい察官の人が立っていた。わたしはびっくりしました。何か悪い事をしたのかなと思ったからです。ママが外に出たので、少しこわかったけれど、いっしょについて行きました。1人のけい察官がママに話しかけて、もう1人のけい察官がてちょうにメモをしていました。

まず、けい察官の人は、

「イノシシはこの辺に出ますか。」

と聞きました。ママが道路に足あとがある事を言うと、見かけたら、いつでも電話してください、と言ってくれました。イノシシが人をおそうニュースを見たことがあるのでその話を聞いてとても安心しました。

次に、

「ここに住んでいて、何かこまった事はないですか。」と聞かれました。するとママは、家の前の道路には、がいとうが1つもないので、夜になると真っくらになります、と話しました。けい察官の人は、たしかにあぶないので、つけてもらえるか、かくにんしておきますね、と言ってくれました。その夜、昼間きてくれたけいさつ官の人から電話がありました。何の話だったかママに聞いてみると、

「がいとうのお話を色いろしらべてくれたんだけど、つけるのむりみたいで、けい察官の人がごめんね、と言ってくれたんだよ。」

と教えてくれました。わたしはけい察官が家を1けん1けんわざわざよって来て、ありがたいと思いました。わたし達がイノシシにおそわれないように気にしてくれたり、こまっていることをかい決してくれようとしてくれたり、すごいなと思いました。悪い人をつかまえるだけじゃなく、まちの人達が幸せにくらせるように見ていてくれるから、みんなが安心して生活できるのだと分かりました。けい察官で、やっぱりすごいし、かっこいい。